



耳鼻咽喉科クリニックでの手術的治療においては、レーザー治療が広く普及してきましたが、最近ではさらに治療の幅を広げる機器が登場し、アレルギー性鼻炎や扁桃肥大等の治療に貢献しています。今回はその一つバイポーラ電源装置システム「Celon ENT」(以下Celon)を多くの症例に使用し、患者さん満足度の高い診療を実践している笠井耳鼻咽喉科クリニックをお訪ねし、新しい治療法の実際についてうかがいました。



### レーザーとバイポーラ治療で 各種疾患の外来手術に対応

笠井耳鼻咽喉科クリニックでは、炭酸ガスレーザー、半導体レーザーによるレーザー治療、及びCoblatorとCelonを使用したバイポーラ凝固治療が行われています。レーザー治療は平成12年より導入し現在までに約5,000例の実績があり、外来診療において日常的に使用されています。同クリニックが開設しているホームページでもレーザー治療についての説明や、患者さんとの質疑応答が細かく掲載され、非常に積極的に取り組まれている姿がうかがえます。このホームページを見た患者さん、また口コミの患者さんが、レーザー治療を目的に来院されるケースも多いといえます。

#### みみはなのどいびきレーザー 笠井耳鼻咽喉科クリニック

自由が丘診療室

KASAI Ears, Nose & Throat CLINIC

03-5461-0000 東京都自由が丘1-29-14 2F 11:00-18:00

緊急夜間相談と大井町線

自由が丘駅、正副口徒歩1分

- 耳鼻咽喉科診療室内 | 小児耳鼻咽喉科 | 顔面整形 | 遠慮方針 | 施設案内 |
- 医療設備 | 診療時間 | リンゴ集 | 検査室 | レーザー治療 | 夜間診療 |
- 緊急夜間診療 | 119番通報 | 救急搬送 | 救急搬送 | 救急搬送 |
- 24時間救急診療 | 救急搬送 | 救急搬送 | 救急搬送 |

TEL: 03-5461-0000 FAX: 03-5461-0001

〒100-0001 東京都千代田区自由が丘1-29-14 2F 11:00-18:00

笠井耳鼻咽喉科クリニックのホームページで情報提供を積極的に行っている

バイポーラ治療は平成13年より開始。扁桃肥大、慢性扁桃炎、腺窩性扁桃炎、また、いびき治療の補助として軟口蓋や舌根部の肥大縮小等、様々な疾患に適応。Celonは昨年の2月に導入し、以来、アレルギー性鼻炎や肥厚性鼻炎の治療を中心に、月に平均20例ほどに使用されています。



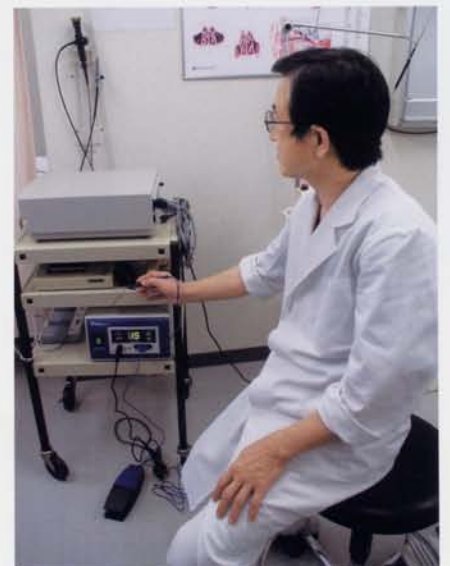
クリニックで頻繁に使用される、レーザー、バイポーラの各種機器類

### レーザーからCelonへの段階的 治療で、鼻閉の改善効果をより 確かなものに

レーザー治療とCelonなどのバイポーラ治療を臨床でどのように位置づけ、使い分けしているのか、笠井先生にお聞きしました。「鼻閉に対する治療で初めからCelonを使用することはまずありません。まずレーザーによる下鼻甲介粘膜縮小手術を行い、2、3回施術しても十分に改善しないという場合にCelonによる治療へと進むことになります。」

このような段階的な治療を行うのは、2つの治療法とも低侵襲ではあるものの、比較すればレーザー治療がより簡便であることが

理由にあげられます。例えば、初診で訪れた患者さんに対しても、診断の後に鼻粘膜への塗布麻酔だけで、レーザー照射を行うことができますが、バイポーラの場合は事前に出血傾向や感染症の有無を調べる血液検査を行い、麻酔も痛みへの十分な配慮から局所麻酔注射が選択されるなど、より入念な準備が必要となります。いっぽう、治療効果の面から見るとCelonによるバイポーラ凝固治療には大きな意義があると笠井先生は言います。「レーザーは表層的な処置なので、下鼻甲介を収縮させるのには限界があります。その点、バイポーラ凝固治療は針状の電極を粘膜下に刺入して通電し、組織を凝固させますから、より深部からの下鼻甲介減量効果が期待できます。レーザーよりも永続的な効果が得られるといえるでしょう。実際、レーザー治療を受けても鼻閉の改善がままひとつという患者さんには、Celonによる治療によって十分な治療効果が得られ、たいへん満足していただいています」



レーザー治療では効果が足りない患者さんにCelon(写真下)を使用